平成23年12月20日
（2011年）
第4号

五里ごり館通信

五里ごり館
城陽市歴史民俗資料館（文化パルク城陽　西館4階）
〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地
TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612

平成23年度春季特別展

城陽を走った電車の話

ー奈良電から近鉄へー

平成24年（2012年）
1月28日（土）～3月25日（日）

但し、1月30日、2月6・13・14・20・27日、3月5・12・19・21日は休館

写真提供　①②近畿日本鉄道株式会社　③谷川一市氏

奈良電鉄と近鉄で駅員として勤務された谷川一市さん

「昭和22年に奈良電に入社しました。鉄道員として一番大事なのはお客様です。定年になる大晦日の日、軽トラックが踏切で立ち往生し、そこに特急が接近してきました。急いで警報機を押し、軽トラックを押して踏切の外に出した直後、30m～50m手前で特急が停車しました。事故を防ぐことができてよかったです。」

近鉄電車や駅舎の写真を多数撮影している香川正徳さん

「鉄道全般が好きですが、近鉄は特に親しみがあります。移り変わる駅舎や車両を残しておきたいと思って撮り始めました。皆さんに秘蔵写真を楽しんでいただければ光栄です。」

模型を作った左近則嗣さん

「一番苦労したのは、車両の色の再現です。鉄道模型仲間の塗装屋さんに協力してもらいました。この夏は顧問をしている中学校の美術工芸部で鉄道模型のレイアウトを制作しました。鉄道模型をきっかけに、モノを作る楽しみが伝わればうれしいです。」

近鉄京都線限定観光ＰＲ車両のＮゲージ模型

とまれ

大正14年（1925）5月6日
奈良電気鉄道株式会社創立。
新入社員として入社。

大正15年（1926）大正天皇崩御　**昭和になる。**宇治～西大寺の工事に許可をもらう。
※向かいの人に「ありがとう」といって2マス進む。

昭和2年（1927）1月線路をひくための土地を買い始める。少々路線変更。
※1回休む。

昭和2年（1927）3月廃線になっていた**旧国鉄奈良線の払い下げ**を申請した。現在の京都駅～伏見駅区間。
※1マス進む。

昭和2年（1927）9月小倉～西大寺に線路を敷き始める。
※「よっこらしょ」という。

工事Ⅰ
向島あたりの大和街道沿い**巨椋池**東側800ヘクタール水深1～4mを埋め立てる。
※左となりの人に「大丈夫？」と心配してもらう。

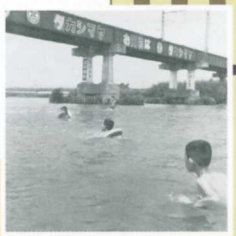
1

工事Ⅱ
淀川に540フィートの橋梁を架ける事にする。橋脚のない構桁橋で**当時の東洋最大。**
※みんなに「すごーい」といってもらう。

工事Ⅲ
伏見支線（桃山御陵前駅）へは線路を高架橋か、御陵参道を陸橋にするか悩む。
※1回休む。

11月　7882人　1850円

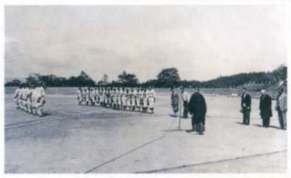
昭和4年（1929）7月**木津川水泳場**をつくってみた。臨時の駅舎ができる。
※平泳ぎのまねをして2マス進む。


6

昭和7年（1932）11月**木津川グライダー場**ができた。日曜にみんなで遊びに行く。

7

昭和10年（1935）9月15日**寺田野球場**ができた。
※素振りをして1マス進む。


8

到着

昭和38年（1963）10月1日
奈良電鉄が近鉄電車へ吸収合併される。
※「さよなら奈良電」と小さくつぶやく。
近鉄電車に生まれ変わる。
※「こんにちは近鉄」と両隣と握手をする。

昭和11年（1936）9月20日**寺田ラグビー場**ができた。
※左となりの人のコマが1マス進む。

9

昭和20年（1945）8月**終戦。**占領政策下に入る。GHQ用の特別列車が1日1往復走る。大久保、狛田にもGHQが駐屯する。
※向かいの人に「ハロー」とあいさつする。

昭和16年（1941）12月**太平洋戦争**が始まる。奈良電も戦争のための物資輸送や人の輸送に使われる。
※みんなに「おつかれさま」という。

昭和15年（1940）**紀元2600年大輸送**
橿原神宮にお参りに行く。1000万人が参拝する。運輸収入100万円を突破。
※みんなに拍手してもらう。3マス進む。

昭和3年（1928）4月**澱川（よどがわ）橋梁の建設工事着工。**
鉄鋼材が足りないので83％の1500トンをアメリカベツレヘム社に電報で発注する。
※英語で「ハロー　ウイアー　ナラデン。ウイ　ワント　トゥバー　チェイス　スティールズ　オブ　コアカンパニー。」という。

2

昭和3年（1928）2月～5月田辺町に**田辺車庫**をつくる。（現新田辺駅）
電気部門が**車両**デハボ1000形を作り始める。特徴　セミ・スティールカー　パンダグラフ付き
最高時速95キロ24両を田辺車庫で組立てる。
※みんなに「がんばったね」といってもらう。

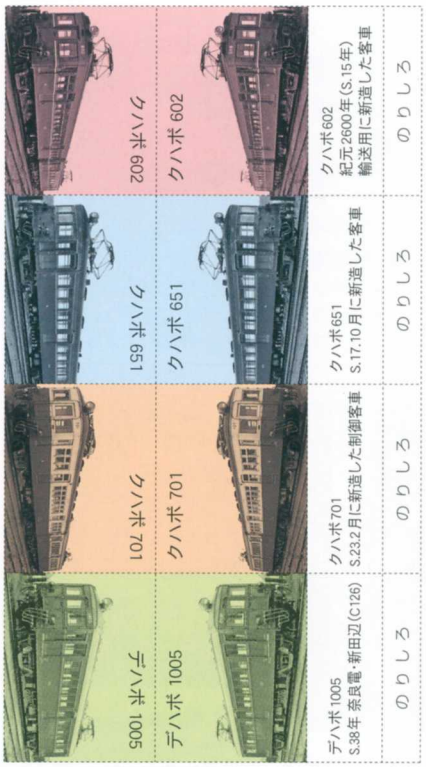
3

写真提供
1、2、3、4、5、7、9、10：近畿日本鉄道株式会社
6：並川金三郎氏
8：小笹倶茂氏

奈良電気鉄道 歴史双六

（ならでんきてつどうれきしすごろく）

奈良電はむかし城陽を走っていた電車です。今は近鉄電車として地域のわたしたちになくてはならない路線として親しまれています。奈良電誕生から近鉄電車になるまでを双六で旅してみましょう。



出発進行

大正8年（1919）地方鉄道法ができた。よろこんでみんなで奈良電の**建設許可を申請**する。京阪電気鉄道中書島停留所を起点、大阪電気軌道奈良停留所付近を終点とする。

大正11年（1922）7月**「関西電軌」と合併**。11月16日鉄道大臣より鉄道敷設免許を受ける。

※心機一転、出発進行にもどる。

とのしょう 富野荘

昭和3年（1928）11月14日遅れて京都～桃山御陵前間も監査が終了。不具合がないかみんなドキドキする。

※胸に手をあてて「きんちようするわー」という。

昭和3年（1928）11月15日**京都～桃山御陵前間開通！**京都-西大寺間全線34.5キロ普通68分　急行57分1日の平均乗客と収入

とまれ

昭和3年（1928）11月3日桃山御陵前～西大寺間**開通！**桃山御陵前駅で開通式を挙げる。10年目にしてやっと列車が通った。みんなの眼に涙が浮かぶ。

※「おめでとう！」とみんなにいってもらう。

5

昭和36年（1961）9月16日**第2室戸台風**。電線の切断など700箇所。全線開通に4日間かかる。

※1回休む。

昭和28年（1953）9月25日**台風13号**がやってくる。淀川が決壊。巨椋池干拓地が冠水。線路の下の土などが流出する。

※ふきとばされて2回休む。

昭和3年（1928）10月26日桃山御陵前～西大寺間で鉄道省の監査が始まる。10月30日　澱川橋梁　重量荷重試験を受け合格する。11月1日　**公式試運転**。

※みんなのまわりを1周まわる。

昭和3年（1928）9月伏見の高架橋はほぼ完成。10月16日**澱川橋梁も完成**。全重量1839トン　橋をダークグリーンに塗ってもらう。

※みんなに「かっこいい！」といってもらう。

4

昭和20年（1945）12月21日丹波橋駅に連絡線を足し**京阪線へ乗り入れ**する。

※「ありがとう」といって誰かのコマを好きなマスに進める。

10

乗務員になるための4ヶ月の**大特訓**が始まる。運転手と車掌見習104名が大阪電軌・京阪電鉄に訓練に行く。駅員は44名が新京阪鉄道で訓練。

※隣の人に「よろしくお願いしまーす」という。

運輸部門が活動を始める。運輸規定を決める。ダイヤグラムを決める。

※「あー忙しい」といって誰かのコマを1マス進める。

くつかわ 久津川

電気部門が**変電所**を建て始める。設置場所　山田川・寺田・伏見

電気部門が**信号機**を設置し始める。

イベントのご案内

特別展関連事業●ふれあい教室

「鉄道模型をつくろう！」

かまぼこ板で鉄道模型の展示台をつくります！

日　時　平成24年2月18日(土)　13：30～15：30
場　所　城陽市歴史民俗資料館　工作室
講　師　左近 則嗣氏
対　象　小学校高学年以上
定　員　18名　　参加費　500円程度
申　込　2月1日(水)　午前10時より電話または来館にて受付

特別展関連事業●第71回文化財講演会

テーマ　奈良電開通の頃 ―パノラマ地図の時代

講　師　宇治市歴史資料館　小嶋 正亮氏
日　時　平成24年2月11日(土･祝)
　　13：30～15：00
場　所　寺田コミュニティセンター　会議室

申込不要 参加無料

手作りワークショップ⑤

「季節の料理をつくろう！ ―恵方巻&飾り巻寿司―」

日　時　平成24年1月29日(日)
　　13：00～16：00(受付12：30～)
場　所　寺田コミュニティセンター
　　調理実習室
講　師　資料館職員
対　象　小学校高学年以上
定　員　16名
参加費　500円程度
申　込　電話または来館にて受付中

手作りワークショップ⑥

「布のコサージュをつくろう！」

日　時　平成24年3月4日(日)
　　13：30～16：00(受付13：00～)
場　所　城陽市歴史民俗資料館
　　工作室
講　師　資料館職員
対　象　小学校高学年以上
定　員　20名
参加費　300円程度
申　込　2月11日(土)　午前10時より
　　電話または来館にて受付

勾玉をつくろう！

毎月第4土曜日は勾玉デー!!

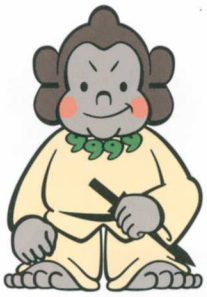
1月28日・2月25日・3月24日
各日13：30～(15：30受付終了)
場　所　城陽市歴史民俗資料館
　　工作室
対　象　小学3年生以上
参加費　おとな 200円
　　こども 100円
申込不要

■交通案内
★近鉄京都線寺田駅下車　東口より南へ450m
★ＪＲ奈良線城陽駅下車　南西へ1300m
ＪＲ城陽駅から市内循環バス有り

■開館時間　午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休 館 日　月曜日(祝休日の場合は開館)
　　祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
　　12月28日～1月4日

■観 覧 料　おとな　　200円(140円)
　　小・中学生　100円(70円)
＜団体料金＞おとな　　160円(110円)
　　小・中学生　80円(50円)
※団体は20名様以上
※(　)内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料
＜次の方は観覧料が免除されます＞
★城陽市内在住の65歳以上の方
★城陽市内在住の小・中学生
★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
★城陽市外の小･中学校の団体観覧(但し､児童･生徒のみ)



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。
「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。
古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

五里ごり館 開館カレンダー ●印は休館日

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

五里ごり館通信　第4号　平成23年(2011年)12月20日発行
編集・発行　五里ごり館(城陽市歴史民俗資料館)　〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地　TEL 0774-55-7611　FAX 0774-55-7612